



YouTube の制限付きモードの設定



保護者・教職員のみなさんへ

YouTube は 13 歳以上（中学生以上）が視聴することを想定してガイドラインやポリシーが作られています。「制限付きモード」を設定すると動画のデータやタイトル、使用される言葉が不適切と判断された場合、動画は表示されません。制限付きモードをオンにする方法を紹介します。

【PC・タブレットの Web サイト】

アカウント ▶ 制限付きモードを有効にする ▶ ロックする ▶ パスワード入力

制限付きモード:オフ >

制限付きモードを有効にする

ロックするときは、パスワードの管理をしっかりと！

制限付きモードを有効にする

このブラウザの制限付きモードをロック

パスワードを入力

制限付きモード:オン >

【iOS のアプリ】

アカウント ▶ 設定 ▶ 制限付きモードフィルタを強にする

画面の右上にある丸い人型マークがプロフィール写真等になっている人も。

設定

制限付きモードフィルタ

強

【Android のアプリ】

アカウント ▶ 設定 ▶ 全般 ▶ 制限付きモードを「ON」

設定

全般

制限付きモード

制限付きモードを有効にすると、ユーザーの報告やその他の指標により不適切と判断されたコンテンツを含む動画は表示されません。どのフィルタも 100% 正確とは言えませんが、これで通常ほとんどの不適切なコンテンツは除外できます。

参考：安心ネットづくり促進協議会「インターネットを安全に利用するために～サービスや設定を知りたいみなさまへ～」 <http://good-net.jp/>